

質問者 細川 雅子

大竹市の将来像と実現への道筋について

問 市長が臨時議会で所信表明された、市政運営上の「三つの大切」のうち、「市民を大切に」についてお尋ねします。

市民を大切にし、市民から信頼される行政運営をするために、就任されて最初に出した指示が「市民の皆さんへの気持ちよい挨拶」と聞きました。挨拶はしたほうもされたほうも気持ちの良いもので、「市民を大切に」していることが良く分かります。合わせて、市民の声を聞き、直接対話をする市長の姿勢も、誤りのない政策判断のための条件整備になります。これらについて引き続き実行されるおつもりがあるかお尋ねします。

答 かけがえのない市民の皆さんと直接対話することを大切にし、多くの市民と直接対話することで市長としての考え方を整理していきたいと考えています。また、行政だけの一方的な視点からではなく、常に市民の目線で行政サービスを実施していく市民にとってわかりやすい行政を行っていききたいと思っています。

問 執行部と議会は、大竹市民の幸せのために、互いに尊重しあい率直な議論をすることが求められます。引き続き議会に対する説明責任の実行と情報公開が必要不可欠ではないでしょうか。

答 市議会議員の皆さんは、私とは違う選挙で選ばれ、お互い対等に議論しあう市民の代表であると考えます。議員の皆さんの意見をしっかりと聞かせて頂くために、議案の説明を十分行うとともに、偏らない情報提供に努めて参ります。

問 本市には、子育て支援や子ども見守り活動における市民の皆さんの自主的な活動などが数多くみられます。まちを愛する想い、まちをよくするために何か働きたいという市民の想いを信頼し任せることで、行政と市民との信頼関係がより強固なものに築かれていくと思いますが、市長の考えをお聞かせください。

答 市内での自主的な住民活動について、本当に敬服しています。ただ、まだまだ少数の限られた方々であろうと理解しています。幅広く多くの方々が自主的にボランティア活動、自治会活動、住民活動に参加して頂けるようなPRと仕組みづくりをこれから作り上げていきたいと考えます。

めることができる赤字は、本事業全体の赤字額の大きさからすると小さいものであると言わざるを得ません。企業誘致は、土地売却の直接利益よりも、企業の投資が税収や雇用の増加、そこから派生する街の活性化につながっていくことも考えに入れていかなければならないと思います。私が市長になったことで、今までの取り組みを否定することは適切とは思いません。既に取り組んでいる県市一体での企業誘致を含め、選択の幅を広げていきたいと考えます。そのためには、職員、議員を含め全市民が一丸となつて情報を収集したいと考えます。

その上で、事業の実現性、採算性等を十分吟味し、市の活性化に向け、適切に判断したいと考えます。

市立・中学校の充実について

問 将来の大竹市、わが国を担う子どもたちの育成は、地域の発展にとつても重要な問題であり、子どもたちの成長期の教育機関である小・中学校の充実是最も重要な課題と考えています。

市内での教育環境の格差、教育施設の整備等は重要な問題です。

平成13年12月に大竹市小中学校充実検討委員会より小中学校充実のための提言がなされており、それを受



大竹小の運動会

答 教育委員会としては、この提言を尊重し、大竹市域が一体となつた教育体制の充実を進め、市内の教育環境を是正するため、原則として複式学級の解消に努めます。子どもたちの成長をはぐくむ教育内容の充実、市域全体で子どもたちをはぐくむ教育体制の充実、安全かつ安心できる学校施設の充実を目指し、市長部局とも連携を図りながら、引き続き協議を進めて参ります。

問 市民から信頼されるための条件は、第一に約束を守ることでしょう。市長の考えをお聞かせください。

答 市が抱える課題や問題に本気を取り組み、解決していくためには信頼関係の回復が急務であると思います。その一番の基本は約束を守ることです。

大変難しい課題だと思いますが、しっかりと肝に銘じてがんばって参りたいと思います。



玖波祭でのこどもみこし

入山市長所信表明に伴う、今後の財政運営を問う

問 大竹市株式会社18年3月借金総額は490億円にのぼります。その厳しさがどの位かは計り知れませんが、市民生活に想像を絶する影響があることは必至です。

市長もそのことは十分に承知認識された中で、先に開催されました臨時本会議において、行政運営全般に係る所信表明をされました。

大竹市の将来は、先人の苦勞が実を結びつつあることから、明るい面も出てきております。しかしながら、依然として大願寺山開発をはじめとしたバブル期以降の開発行政によって生じた多額の債務の返済や、第2期工業用水道事業の経営問題など、難題も山積しています。

これらの問題解決にあたっては、市職員、市民、地域の団体、そして市議会との対話は欠かせないと述べてられています。ついては、今後の行政対応についてのご見解を伺います。

一、財政問題解決にあたり行財政改革への具体的な策、取り組みについて
①市民への財政推計・財源不足額の提示時期

質問者 広岡 巧

大願寺山宅地造成事業について

問 先の臨時市議会において、入山市長は市政に対する基本的な考え方を表明されました。それは三つの大切、三つの前提をもとに市政運営に当たるという基本姿勢でありました。

今後の市政運営・政策展開は容易なものではないと考えますが、大きなリーダーシップを発揮されるよう期待している次第です。

また、市長は所信表明の中で述べられたように、大願寺山宅地造成事業については短期間での解決は大変厳しいと認識されています。この問題は本市の長年の重要課題であり、また本市の将来を左右する事業であり、その対応については多くの市民が関心をもっているところです。

現在までその対応は二転三転していますが、この問題解決について今後どのような対応をお考えなのかお伺いします。

答 大願寺山造成地は、広大であり、大切な土地です。早期に、しかし慎重に売却していきたいと思えます。企業誘致にしても、前途は多難です。しかも、土地の売却によって埋

②公債費、人件費、大竹市工場等設置奨励条例、高齢化への福祉医療等
二、特に第2期工業用水道事業における裁判の結果次第では、財政問題への影響等から、市民負担の可能性を秘めています。それらの解決策として、
①水道事業会計との一体化運営
②給水単価の検討
③第2期工業用水道事業会計の実態、それらが及ぼす市民サービス低下などの速やかな情報開示

答 一―① 地方を取り巻く環境は国のひつ迫した財政難に起因して極めて流動的です。しかし、市民の皆さんに財政再建の取組を理解して頂くためには、具体的な財源不足額を推定し、目標数字を挙げる必要があります。

現在、持続可能な市政運営のための必要額を出す前提条件となる財政推計をより精度の高いものにしようと作業していますので、現段階では具体的な行財政項目や目標数値を挙げる事ができません。
一―② 新たな行財政システム改善実施計画案をまとめるにあたり、具体的な問題点を示して頂きましたので、特にこれらについては、具体的に検討し、政策としてまとめて参ります。

二―① 地方公営企業法で、事業ごとに会計を設けるという規定になつ